

## 「出会いと別れの季節にあって思うこと」

院長 奥澤 星二郎

毎年、桜の咲く頃に人事異動の季節がやってきます。当院では転勤、結婚、定年など、様々な理由により身近な職員が何人も去っていきます。別れはいつも寂しいものですが、一方、新しい仲間に出会える喜びもあります。看護師、医師をはじめ、今年も78名と多くの新人が当院に入職してくれました。こうして世代交代を繰り返しながら、組織は若返り、刷新されていくのです。

さて、日本の医療界は今、少子高齢化、医師の地域偏在、急騰を続ける社会保障費など、山積する難問を抱えたまま、嵐のような激変期に突入しました。国が強く推進する地域完結型医療の実現を目指し、当院も複数の他医療機関との機能連携を強化し、大きく変わります。

そんな中、新人は病院を支える「駅伝ランナー」として、先輩からタスキを引き継ぎ、不安と希望を胸に走りはじめたところです。新人は大切な苗木です。いつの日か、大きな木となり、この国の未来を守れるように育成しなければなりません。

第二次世界大戦の連合艦隊司令長官 山本五十六氏に、新人教育の極意と言われる名言があります。

「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かず」

まずは先輩がやってみせ、分かるまで説明し、できるようさせた後、励ましの言葉を付け加えなければ、新人はやりがいを自覚できないというのです。

この名言には続きがあるのをご存じでしょうか。第2句は、

「話し合い、耳を傾け 承認し、任せてやらねば 人は育たず」

次は、密接にコミュニケーションをとりながら、権限を与えて任せることです。これをしなければ、人は育たないというのです。最後の句は、

「やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば 人は実らず」

いかがですか。任せたら、感謝し、陰で見守り、信頼することで、人を実らせることができるのです。

人材育成は容易でなく、本当に根気のいる仕事ですね。

様々な職場で新人の教育研修を担当される方々のご参考になれば幸いです。

### 【第56号内容】

- 「出会いと別れの季節にあって思うこと」
- 「予防接種を受けましょう！」
- 「東3階病棟紹介！！」
- 「辞令交付式・さあ～寄って講座予定」



## 『-予防接種を受けましょう！-』

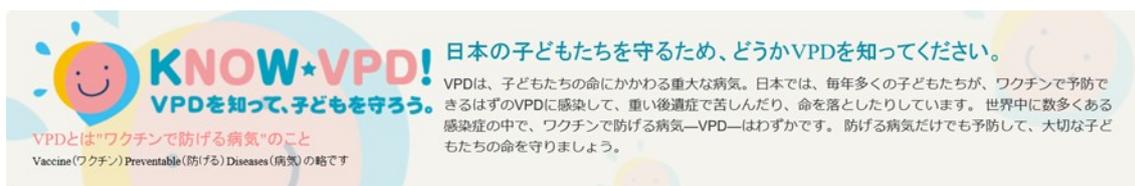
### 第1回 小児科 吉田 真

みなさん！ここ数年こどもの予防接種がたくさん増えたことを知っていますか？日本では様々な事情により予防接種の普及は他の先進国に大きく後れを取ってきました。この現象は「ワクチンギャップ」として医療従事者（特に小児に関わる）の中では深刻な問題として受け止められていました。

しかし、いろいろな課題を乗り越えて、最近10年でこどもの予防接種が急増しました。さらにこれまでは自費負担だったワクチンの多くが、公費負担（無償）になりました。

以下に代表的なものを示します。

ワクチン名	導入年	定期化（無償）	防げる病気
ヒブ（Hib）ワクチン	2008	2013	細菌性髄膜炎
肺炎球菌ワクチン	2010	2013	細菌性髄膜炎
ロタウイルスワクチン	2011	自治体による	ロタウイルス胃腸炎
水痘	1986	2014	水痘
B型肝炎	1985	2016	B型肝炎



#### ☆VPDについて

VPD（vaccine preventable disease）は“ワクチンで発症を予防できる病気”のことです。

Hibおよび肺炎球菌ワクチン導入前は、年間約1000人のこどもが細菌性髄膜炎という重い病気にかかっていた。そのうち約50～100人がなくなり、約300人が後遺症を残しました。それが両ワクチン導入後、発症者が1/100以下に急激に減少しています。細菌性髄膜炎は発症が予防できる時代がやってきました。

#### ☆同時接種について

生後2か月から約半年で11種類のワクチンを接種する必要があります。日本ではこれまで1回1ワクチンが基本でしたが、いまでは1回4-5種類のワクチンを接種することが当たり前になりました。複数接種になっても副反応の頻度・程度は変化がないと多くの小児科医が考えています。



ワクチンのスケジュールを立てるのは簡単ではありません。詳しくは接種を希望されている施設に確認してください。上記のような専門アプリもあるので、ネット情報も参考にしてみてください。

## 「東3階病棟 部署紹介」

### スタッフ一同



東3階病棟は病的新生児室4床を含めたベッド数32床の小児病棟です。小児とは生まれてすぐの0歳児から中学3年生までを対象としますが、中学校を卒業しても、小児科の先生に診療を継続されている方も対象となっています。

診療科は小児科をはじめとする全科の急性期疾患です。成長発達の過程でその未熟性や病気により、呼吸や体温調整、栄養摂取が困難なお子様や手術・検査を目的としたお子様など多岐にわたっています。スタッフは各科医師、看護師、看護補助者、病棟保育士です。入院するお子様とご家族の不安や緊張を少しでも和らげ、安全で安心な療養生活を送っていただくことを第一に考えています。その一部を紹介します。病棟入口の黄色いドアを正面に右側に待合室があります。

小児病棟は入院しているお子様の兄弟姉妹であっても中学生以下の子どもたちの面会を制限しています。ここはその子どもたちの待機場所として作られています。かわいい壁飾りの空間でテレビやDVDを鑑賞しながら安心して待つことができます。病棟のほぼ中央にプレイルームがあります。ガラス張りのお部屋で、ドアを開くと時報と共にディズニーキャラクターが飛び出すからくり時計と優しい笑顔の病棟保育士が迎えてくれます。発達段階に合わせた遊具を取り揃え、検査や手術を待つ子や病気が回復し安静解除となった子どもたちが遊ぶ場所です。年間を通しての行事も、子どもの成長や体験として大切なものであり、入院によって妨げられることのないよう夏祭りやクリスマス等も企画し開催しています。ここまで説明しますと、何やら楽しいことだらけの様な感覚になりますね。やはり回復の為の検査や処置など我慢しなければならないことが当然あります。病気のつらさと治療に耐える様子と回復力に日々驚かされ、ご褒美の手作りメダルやメッセージカードを胸に誇らしげな笑顔とハイタッチで退院していく子どもの姿に元気をもらっています。



辞令交付式



新入職者



広報委員

- ・奥澤星二郎(医師)
- ・羽角安夫(事務)
- ・提箸広典(事務)
- ・広瀬恵美(事務)
- ・山脇富士野(看護)
- ・高橋忠幸(事務)

さあ～寄って講座 開催予定スケジュール

日時:午前10時15～10時45分 場所:1階外来待合ホール  
※事前申し不要、参加費等も頂いておりません。どなたでもお気軽に立ち寄って下さい。

6月13日(火) 紹介状をもって受診しましょう

7月19日(水) 夏のスキンケア

8月22日(火) 医療安全について